

いなづま



平成二十一年以来山車を新調し参加した今年度の函館港まつり「ワッショイはこだて」

撮影：伊東 照勝

ご挨拶

理事長 玉津 眞史

今年も残り少なくなり気温が下がり、秋風が身にしみ、冬を迎える季節となりました。

九月は五日の台風二十一号、六日の胆振東部地震と連続で災害が発生しました。胆振東部地震では発電所の停止により北海道全域で大規模停電が長時間続き、電気の有難さをつくづく考えさせられました。このたびの地震による北海道の経済損失は、工場の操業停止や、スーパー、コンビニの営業停止により、熊本地震を上回る5兆円超になる試算が出ています。災害に対する備えを日頃準備しなければなりません。この間、組合員の皆様には、北電から要請のあった引込線断線などの災害対応にご尽力いただき心から感謝いたします。

五月二十五日の第七十回通常総会では提出議案の総てを承認いただきました。組合員の皆様のご協力により、事業運営を行う事ができました。心より感謝いたします。昨年度はスイッチング工事の工事が高止まりして推移したとと街路灯保守委託事業等の増加により、一昨年同様の利益を計上する事ができました。三十年度の剰余金処分では出資金配当の増額と、利用分量配当を行う事ができました。今年度も組合事業に対するご協力を宜しく願います。

組合事業においては恒例となっている、大レクリエーション大会では、年々新たな趣向を懲らし大いに盛り上がりしました。港まつりワッショイはこだてへの参加では、昨年度電線マンの衣装を新調してコスチューム賞を受賞したのに続き、山車を新調して臨んだ今年度はサマーカーニバルの部で準優勝に輝きました。来年は優勝を期待します。

これからの季節は徐々に寒さも厳しくなります。組合員の皆様におかれましては、仕事をする上で、常に基本を念頭におき、無事故、無災害の年にして頂きたいと思ひます。

役員会だより

第一回役員会

三十・五・八

一、経過報告

(有)高瀬電気商会代表者ご尊父逝去

二、貸付報告・無し

三、各支部報告並びに提案事項

四、総務委員会事項

(1) 組合員の異動

平成三十年新年会・組合創立七十周年記念式典及び祝賀会の決算報告について

定期健康診断の実施結果について

平成三十年度（第七十回）通常総会について

道工組平成三十年度総代会について

事務局長の選任について

五、事業委員会事項

(1) 内線工事会社研修会の開催結果について

(2) 二級引込線工事士認定講習・認定試験の開催結果について

(3) イルミネーション撤去工事並びに決算報告について

(4) 第二種電気工事士試験（学科）準備講習会について

(5) 第三回役員会及び北工連絡会の開催について

(6) 北電・組合連絡協議会の開催について

(7) 二級引込線工事士安全技能講習（無墜落昇降柱法訓練）の実施について

(8) 函館工業高校電気科生徒インターシップ現場実習の受入について

六、その他

(1) 青年部平成二十九年度決算報告並びに平成三十年度予算説明

(2) 組合ホームページの作成について

第二回役員会

一、経過報告・無し

二、貸付報告・無し

三、各支部報告並びに提案事項

四、総務委員会事項

(1) 平成三十年度（第七十回）通常総会の開催について

(2) 平成三十年度（第七十回）通常総会の開催について

(3) 平成三十年度（第七十回）通常総会の開催について

五、事業委員会事項

(1) 二級引込線工事士・計測器工事士安全技能講習（無墜落昇降柱法訓練）の実施結果について

(2) インターネットの実施結果について

(3) 第二種電気工事士試験（技能）準備講習会の開催結果について

(4) 安全大会の開催結果について

(5) 安全大会の開催結果について

(6) 安全大会の開催結果について

五、事業委員会事項・無し

第三回役員会

三十・六・十五

一、経過報告・無し

二、貸付報告・無し

三、各支部報告並びに提案事項

四、総務委員会事項

(1) 平成三十年度（第七十回）通常総会の開催結果について

(2) 事務局職員の賞与の支給について

五、事業委員会事項

(1) 第二種電気工事士試験（学科）準備講習会の開催結果について

(2) 第二種電気工事士試験（技能）準備講習会の開催について

(3) 安全大会の開催について

(4) 第二十六回大レクリエーション大会の開催について

(5) 港まつりへの参加について

(6) 道工組親善ゴルフ大会について

(7) 第二回電気工事技能競技北海道大会について

第四回役員会

三十・八・二十一

一、経過報告

(有)ノボル電工代表者ご母堂逝去

(有)ワタナベ電器代表者ご母堂逝去

(有)東福電機工業代表者ご尊父逝去

二、貸付報告

一件五十万円

三、各支部報告並びに提案事項

四、総務委員会事項

(1) 第二十六回大レクリエーション大会の開催結果について

(2) 「いなづま」一四四号の発行について

五、事業委員会事項

(1) 二級引込線工事士・計測器工事士安全技能講習（無墜落昇降柱法訓練）の実施結果について

(2) インターネットの実施結果について

(3) 第二種電気工事士試験（技能）準備講習会の開催結果について

(4) 安全大会の開催結果について

(5) 安全大会の開催結果について

(6) 安全大会の開催結果について

(7) 安全大会の開催結果について

(8) 安全大会の開催結果について

(9) 安全大会の開催結果について

(10) 安全大会の開催結果について

(11) 安全大会の開催結果について

(12) 安全大会の開催結果について

(13) 安全大会の開催結果について

(14) 安全大会の開催結果について

(15) 安全大会の開催結果について

組合行事

(1) 道工組親善ゴルフ大会について

(2) 道工組親善ゴルフ大会について

(3) 道工組親善ゴルフ大会について

(4) 道工組親善ゴルフ大会について

(5) 道工組親善ゴルフ大会について

(6) 道工組親善ゴルフ大会について

(7) 道工組親善ゴルフ大会について

(8) 道工組親善ゴルフ大会について

(9) 道工組親善ゴルフ大会について

(10) 道工組親善ゴルフ大会について

(11) 道工組親善ゴルフ大会について

(12) 道工組親善ゴルフ大会について

(13) 道工組親善ゴルフ大会について

(14) 道工組親善ゴルフ大会について

(15) 道工組親善ゴルフ大会について

(16) 道工組親善ゴルフ大会について

(17) 道工組親善ゴルフ大会について

(18) 道工組親善ゴルフ大会について

(19) 道工組親善ゴルフ大会について

(20) 道工組親善ゴルフ大会について

(21) 道工組親善ゴルフ大会について

(22) 道工組親善ゴルフ大会について

(23) 道工組親善ゴルフ大会について

(24) 道工組親善ゴルフ大会について

(25) 道工組親善ゴルフ大会について

(26) 道工組親善ゴルフ大会について

(27) 道工組親善ゴルフ大会について

(28) 道工組親善ゴルフ大会について

(29) 道工組親善ゴルフ大会について

(30) 道工組親善ゴルフ大会について

(31) 道工組親善ゴルフ大会について

(32) 道工組親善ゴルフ大会について

(33) 道工組親善ゴルフ大会について

(34) 道工組親善ゴルフ大会について

(35) 道工組親善ゴルフ大会について

(36) 道工組親善ゴルフ大会について

(37) 道工組親善ゴルフ大会について

(38) 道工組親善ゴルフ大会について

(39) 道工組親善ゴルフ大会について

(40) 道工組親善ゴルフ大会について

(41) 道工組親善ゴルフ大会について

(42) 道工組親善ゴルフ大会について

17日	北海道職業能力開発促進センター電気分野人材育成研究会
全日	西部支部会議
全日	江差支部会議
全日	北部支部総会
全日	東部支部会議
全日	第二回ホームページ担当特別委員会
全日	港祭り担当特別委員会
18日	渡島支部総会・観桜会
18日	西部支部研修旅行（東京都）
19日	第二種電気工事士（学科）受験準備講習会（ポリテクセンター〓十八名）
19日	第二種電気工事士（学科）受験準備講習会（ポリテクセンター〓十八名）
20日	第二種電気工事士（学科）受験準備講習会（ポリテクセンター〓十八名）
25日	第二回役員会
全日	第七十回通常総会（本人出席四十七名）
30日	第三回ホームページ担当特別委員会
6月4日	6月4日 検満業者打合せ会議
6日	道工業組合役員会に玉津理事長・大倉副理事長出席（札幌ビューホテル大通公園）
全日	道工業組合通常総代会に玉津理事長ほか総代十名・奥村事務局長出席（札幌ビューホテル大通公園）
13日	大レクリエーション大会担当特別委員会
全日	第二回青年部例会
14日	函館港まつり「ワッショイはこだて」参加団体事前説明会に奥村事務局長・伊藤主任出席（サンリフレ）
15日	第三回役員会
全日	北工連絡会（組合会議室〓北電七名・組合十六名出席）
20日	東部支部会議
全日	第四回ホームページ担当特別委員会
22日	北電・工事組合連絡協議会（組合会議室〓北電五名・組合八名）
26日	北部支部会議
27日	道工業組合青年部連合会事業委員会（組合会議室）
28日	二級引込線工事士安全技能講習（組合会議室・北電資材管理跡地〓九十三名受講）
29日	渡島支部会議
7月4日	検満業者打合せ会議
6日	第二種電気工事士（技能）受験準備講習会

8日	（ポリテクセンター〓組合員十名）
8日	第二十六回大レクリエーション大会（グリーンピア大沼〓三四六名参加）
10日	人材開発支援助成金説明会
11日	函館工業高校インターンシップ現場実習
13日	（組合十四事業所ほか六企業・団体生徒四〇名）
11日	第五回ホームページ担当特別委員会
12日	全道事務局長会議に奥村事務局長出席（道電気会館）
全日	函館港まつり「ワッショイはこだて」参加団体責任者会議に伊藤主任出席（サンリフレ）
13日	検満業者打合せ会議
18日	八雲支部安全大会（北電八雲ネットワークセンター〓二十三名出席）
20日	福島支部安全大会（北電福島ネットワークセンター〓八名出席）
全日	福島支部会議
21日	第三回青年部例会
23日	中央会BCP普及研修会に奥村事務局長出席（ホテルリソル函館）
26日	安全大会（組合会議室〓九十名出席）
27日	江差支部安全大会（北電江差ネットワークセンター〓十九名出席）
全日	江差支部会議
全日	検満業者打合せ会議
28日	東部支部親睦会
8月2日	函館港まつり「ワッショイはこだて」（二〇五名参加）
10日	第十七回道工業組合親善ゴルフ倶楽部交流戦（登別カントリー倶楽部〓十三名参加）
17日	正副理事長・事務局長会議
21日	第四回役員会
30日	いなづま編集会議
9月1日	北部支部研修旅行（宮城県・岩手県）
2日	道工業組合役員会に玉津理事長・大倉副理事長出席（道電気会館）
20日	第一種電気工事士（学科）受験準備講習会（ポリテクセンター〓二十三名）
22日	第一種電気工事士（学科）受験準備講習会（ポリテクセンター〓二十三名）
23日	第一種電気工事士（学科）受験準備講習会（ポリテクセンター〓二十三名）
29日	第一種電気工事士（学科）受験準備講習会（ポリテクセンター〓二十三名）

30日 第一種電気工事士（学科）受験準備講習会
（ポリテクセンター〓二十三名）
10月4日 北部支部会議
11日 全道事務局長会議に奥村事務局長出席（道電気会館）

新加入組合員の紹介

平成三十年度加入の組合員を紹介いたします。

鷺田電気設備（江差支部）

鷺田 健 司

昭和三十八年一月六日生

松山郡上ノ国町字北村三十五番地
電話 〇一三九一五五二六九三



推薦人（新光電気工業・三和防災）
（加入年月日〓平成三十年五月二十八日）

組合員の異動

一、代表者の変更（新）（旧）

一、（株）東栄電気工業 代表取締役 齊藤 靖雄 嶋村 雅彦

一、三和防災（株） 代表取締役 佐藤 雄亮 佐藤 竜也

一、（株）北弘電社 支社長 吉田 敬 今野 輝彦

一、北海電気工事（株）函館支店 執行役員函館支店長 大久保之彦 樋口 正史

一、（株）高橋電工 代表取締役 高橋 円 竹田 邦浩

一、住所変更（新）（旧）

一、セツトアップ（株） 茅部郡鹿部町本別五三〇一三九

（旧）茅部郡鹿部町鹿部二二九一五

一、脱退

一、早川電気商会 平成三十年三月二十日

一、（株）扇谷電気工業 平成三十年六月三十日

第七十回 通常総会開催

平成三十年度第七十回通常総会が五月二十五日(金)、組合会館大会議室において組合員数一八六名中、本人出席四十七名、委任状出席一〇一名で開催された。

午後一時三十分の開会宣言に次いで挨拶に立った玉津理事長は、『電力小売り自由化に伴うスイッチング工事による増益した昨年度と同様の利益を計上することが出来、昨年同様、出身金配当と利用分量配当を実施することとなったことについて組合員に感謝する。』と挨拶、また、議案書においても就業者不足は現在も深刻であるが、今後電気工事事が日本全国で数万人規模で不足するであろうと予測される、より厳しい時代が迫る中、新たな経営の方向性を見つけていくこの一年としたいと事業計画において表明した。

次に議長の出選に移り、指名推薦により東部支部の中島康弘氏(株シマデン産業)が選出され議案の審議に入った。

第一号議案

平成二十九年度
事業報告、財産
目録、貸借対照
表、損益計算書
及び剰余金処分
(案) について

第二号議案

平成三十年度事
業計画(案) 並
びに収支予算
(案) について

第三号議案

平成三十年度役
員報酬について



第四号議案

平成三十年度組
合借入金残高の
最高限度額の決
定について

第五号議案

平成三十年度
一組合員に対す
る貸付け(手形
の割引を含む)
又は一組合員の
ためにする債務
保証の最高限度
額の決定につい
て

第六号議案

北海道電気工事
業工業組合総代及び推薦委員の選出について

以上、各議案について事務局説明の後に審議され、全ての議案が原案とおり可決された。

以上、すべての議案について原案通り可決し、午後二時三十分、議長は閉会を宣言し平成三十年度通常総会は終了した。

平成二十四年に組合員が二〇一名を割り込んで以来、総代会開催要件を満たさなくなり現在まで総会を開催してありますが、年々出席者が減少傾向にあります。組合として、出席者を増やせるような効果的な方策を模索しているところではありますが、組合員の皆さまにも組合の運営に対し、積極的に取り組んでいただくことを期待します。



青年部活動報告

平成三十年度も半年を経過し、その間様々な事業活動を行ってまいりました。そこで今年度に開催・協力・参加した事業について報告をいたします。

まず五月初めホテルテトラにて平成三十年度青年部通常総会を開催しました。親組合より玉津理事長・對馬副理事長・奥村事務局長にご出席を頂き、大鎌部長体制一年目の活動報告・決算報告並びに今年度の事業計画案・予算案を参加部員皆さまの御協力のお陰で無事承認を得ることができ、平成三十年度の活動をスタートしました。青年部卒業・新入部員・社内での部員交代等もありましたが、今年度も昨年度とほぼ同じ部員数で活動していくこととなりました。

七月に大レクリエーション大会・八月にワッショイ函館参加と例年通りの活動を行いました。が、この二つにつきましては青年部の担当副部長より、本誌にて別途報告させていただいておりますので、割愛させていただきます。

私からは、『第七回はたらくのりもの大集合』

開催日時 八月二十六日(日) 十時〜十六時

開催場所 港町埠頭

主催者 函館私立幼稚園PTA連合会

への参加について報告させていただきます。

今回で六回目の参加となったこのイベントですが、主催者・協力者のご尽力により毎年恒例の大人気イベ



ントになったの
ではないかと思
います。青年部
からは高所作業
車三台・部員九
名・組合事務局
から伊藤氏も参
加し、計十名で
イベントに臨む
こととなりました。
開催日前日
に台風が来たこ
ともあり天候に
は若干の不安も
ありましたが、
当日は見事な快
晴となりました。
今年はより多く
の方々に高所作業車への試乗体験をして頂けるように
北電さんと参加ブースを合体して行いましたが、それ
でも終了時間まで行列は途絶えることなく、主催者発
表によると一万三千人の来場者があったとのことで大
盛況となりました。今年は自衛隊が掃海艇ではなく護
衛艦「ゆうだち」で参加していたこともあり、前方に
は会場全体のパノラマを、後方の護衛艦を、緑の島で
開催中だったGLAYのライブの派手な照明を高所作
業車から眺めることができるという貴重な体験をして
頂けたのではないかと思います。陽射しを浴び日焼け
しながらも頑張ってくれた部員の方々には大変感謝し
ております。来年度もオファーがあれば参加したいと
考えておりますので、その際は御協力の程よろしくお
願いいたします。また小さいお子さんやお孫さんのい
る方々にも是非このイベントに足を運んでいただきたい
と思います。

最後に各事業を企画運営した関係者の方々に感謝の
意を申し上げまして、青年部の活動報告とさせていただきます。

函館地方電気工事協同組合青年部
副部長 大谷 悟



第二十六回 大レクリエーション大会

さる七月八日、第二十六回大レクリエーション大会
がグリーンピア大沼にて開催されました。

今年度は、青年部が二月から仕事終わりに組合に集
合し、大レクリエーション大会へ向けた例会を開催し
て意見を交換し、今までにない内容にしようとして早くか
ら計画をしてきました。大会前はチケットの売り上げ
が伸びず、ハラハラしましたが、最終的には入場者数
が事前申込、当日券販売と合わせ三四六名となり、例
年通りの人気イベントであることを再認識し、運営ス
タッフとしても力が入りました。

また、開催日前は天
候が不順で、前日まで
屋外で開催するか、体
育館で開催するかを決
断を迫られ、屋外で実
施する競技を検討して
きたことからこれまで
ハラハラしましたが、
当日は曇り空で少し肌
寒く感じられる天候で
も降雨は無く、屋外で
開催することができ、
ホッとしました。



大会は予定通り十時
に開会をし、大鎌青年
部部長の開会宣言、玉津理事長の挨拶、北海道電力(株)
送配電カンパニー函館支店榎原支店長、井田函館市議
会議員の挨拶を頂いた後、全員でラジオ体操を行って
身体をほぐし、いよいよ競技の開始となりました。

青年部で検討し、競技内容で新たに実施したのは、
子ども大玉転がし、女性大玉転がし、十人十一脚競走
の三つです。子ども大玉転がし競走はリレー形式で行
い、子ども達も目を丸くして競走していました。女性

大玉転がし競走は奥様達の勝ちたい気持ちが先走り、
玉を追い越してゴールするというハプニングもありま
したが、大いに盛り上がりました。十人十一脚競走は
足を結ぶため、支部による若さの差が解消され、どの
チームが勝利するか全くわからない状況になりました。
玉津理事長・対馬副理事長も本部席を立ち上がり、競
技に参加するという、これまたハプニング?もあり、
さらに競技を盛り上げました。結果は北部支部が初優
勝を飾り、十人十一脚競走の初代チャンピオンとなり
ました。

アトラクション部門
でも新たな試みを行
い、かつて放映してい
たテレビ番組でも流
行った『電撃イライラ
棒』を青年部で作成し、
子どもから大人まで楽
しむ姿が微笑ましかっ
たです。

食事部門は今年度大
幅に内容を変更し、北
斗市の中華料理香港様
の協力を得て、焼きそ
ば・焼き鳥・唐揚げの
ランチプレートを提供し、数年前まで依頼をしていた
七飯町峠下のおにぎり屋さんのおにぎりを復活させま
した。両店とも冷めてもおいしい食事だったので、参
加された皆さまにも好評だったと聞いております。
こうして全ての競技が終了し、閉会式では、大会委
員長の大倉副理事長より北海道電力(株)、電材及びメー
カー各社、その他協賛して頂いた関係各社に対しての
御礼と青年部員に対しての労いの言葉が述べられ、大
盛況のうちに今大会は終了しました。

来年度も、参加者に楽しんでもらえるよう新たなメ
ニュー、競技を青年部一丸となって検討し、東京オリ
ンピックにも負けないレクリエーション大会にしたい
と今から意気込んでおります。

函館地方電気工事協同組合青年部
副部長 岩井 健太



函館港まつり「ワッシヨイはこだて」



平成三十年八月二日、開港一五九周年函館港まつり「ワッシヨイはこだて」十字街・松風コースに、当組合はお馴染みの電線マン音頭で参加いたしました。

今年度はかねてからの懸案事項であった、『山車を新車にする！』こととなっていたことから、当組合の港祭り実行委員会を早期に開催し、喧々諤々の議論の結果、電線マンに特化した山車にしようとの結論をみて、長年お付き合ひのある真光堂へ山車の作成を依頼しました。さらに、電飾を全てLEDにし、電飾取付工事も青年部で施工することに決定しました。

残念ながら今年度は長らくともにパレードを楽しんできた青年寮通所部の皆さんが不参加となりましたが、組合関係者のみで二〇五名という港祭りへの長い参加歴の中でも最高ではないかという類を見ない参加者数となりました。

当日午後五時三十分、続々と集合した参加者の中に、昨年衣装を新調した従来の電線マンに加え、電線レディが三名参加するという嬉しい？誤算もあり、パレードに華を添えていただきました。集合場所はいくらかの混雑でほとほと事前練習しかすることができず、腹ごしらえもそこそこパレード出発となっていました。

しかしながら蓋を開けてみると Youtube で事前に勉強してきたのか、皆さん見事な電線音頭で、今回も恥ずかしながら私作並に MC としてマイクを握り、参加者を鼓舞しましたが、皆さんの踊りが素晴



らしく、昨年より声が枯れなかったかもしれません(笑)函館駅前のメイン通りに差し掛かると、パレードの隊列も美しく、私は電気工事組合が一致団結していると感動しました。

感動と興奮が冷めやらぬ中、ゴールにたどり着き、パレードも終了。直会会場であるホテル函館ロイヤルへと移動しました。新調した山車も電気屋らしく、他の団体の山車よりも輝いていたと自負しております。

その後、直会会場のホテルロイヤルでは、参加者に冷たいビールと軽食、抽選会等を楽しんでいただき、直会も終了。

後日の表彰式において当組合は十字街・松風コース、サマーカーニバルの部で準優勝に輝きました。私は優勝するのではないかと思ひ、結果発表までドキドキしていました。優勝を公言していたにもかかわらず、準優勝という結果に終わり、対馬実行委員長申し訳ありません。来年は踊りに磨きをかけ、港祭り参加以来初の優勝を目指します。

最後にご参加いただいた組合員とその家族の皆さま、またご協賛いただいております電材問屋各社並びにメーカー各位に誌上を借りて厚く御礼申し上げます。



二級引込線工事士・低圧計測器工事士安全技能講習

低圧引込線及び低圧計測器工事を施工できる資格である、二級引込線工事士・低圧計測器工事士の安全技能講習が六月二十八日、座学を組合大会議室、実技を北電旧資材管理跡地を会場として開催され、今年度は九十三名が受講しました。

座学講習の中で昨年同様、スマートメーターに特化した計測器練習問題を実施し、正答率は約四十七%ほどで、正答率は昨年と同程度の結果となりました。受講された皆さまにはこの練習問題を機にスマートメーターの知識を深めていただきたくとともに、その内容を事業所内で広くお伝えいただきたいと思ひます。

また、加齢による体力の低下などで電柱の昇降が困難で、今後引込線工事を行わない方については、引込線工事の地上監視と計測器工事を施工できる『計測器工事士』のカテゴリーも新設されておりますので、引込線工事士からの資格移行を希望される方は事務局までご連絡下さいますようお願いいたします。

また、文末に記載する事項は要領の重要事項であります。要領改定後五年が経過し、組合員の皆さまにおかれましてはもと必要領が定着してきたものと思ひますが、改めてその内容を熟知していただきたく、記載いたしました。特に、引込線工事士が入退社された場合は、速やかに『引込線工事士異動届』を事務局まで提出くださいますようお願いいたします。

ご多用の中、講師を務めて下さいました北電函館支店配電グループの皆様には紙上を借りて厚くお礼申し上げます。

◎引込線工事士制度についての注意点

●引込線工事士の認定は、発行日より満五年を迎える年末までの期間有効であり、その期間内に安全技能講習を受講しなければ失効します。

●引込線工事士が入退社した場合には『引込線工事士異動届』を速やかに組合事務局まで提出ください。

●低圧計測器工事士とは、一級または二級引込線工事

函館地方電気工事協同組合青年部
副部長 作並 真一

士の有資格者が、身体能力低下その他の理由で資格変更を希望し地区運営委員長が認めた者。なお、資格変更と同時に1級・2級引込線工事士資格は停止する。

ただし、所属工事

会社の施工会区分

の変更に伴い、引込

線工事士資格へ復帰

できる要件は

a. 前回の引込線工

事士安全技能講習から引込線工事士復帰までの期

間が5年以内である場合。

b. 前回の引込線工事士安全技能講習から引込線工事

士復帰までの期間が5年超過の場合は、新規に同講習を受講し昇降柱技能を認定された場合。(引込線工事士運用要領抜粋)

平成三十年度 安全大会

八月から始まる「電気使用安全月間」に先立ち、本年度の安全大会が当組合管内四箇所で開催され、函館地区では七月二十六日、組合大会議室において、組合員及びその社員九十名が参加した。

玉津理事長が「安全

はもとより、品質の向

上、法令の遵守を社内

で徹底してほしい」と

挨拶。



来賓の石橋修北 電函館支店配電グループリーダーは近年の市内や道内の労働災害例を挙げ、「より安全に対する取り組みの継続を」と呼びかけた。

安全講話では、特定社会保険労務士谷口拓也氏より『働き方改革について』と、北電函館支店配電グループ副長の川合新氏からは『安全について』が講演された。

最後に青年部の辻智幸氏(㈱辻電工)が安全宣言を行い閉会した。

また、八雲支部は七月十八日(二十三名)、福島支部は七月二十日(八名)、江差支部は七月二十七日(十九名)が出席して各北海道電力ネットワークセンターにおいて開催され、本年度の安全大会は終了した。



第二種電気工事士準備講習会受験準備講習会

平成三十年度第二種電気工事士試験に先立ち、受験準備講習会の学科講習が五月十二日・十三日・十九日・二十日の四日間、(上期学科試験は六月三日実施) 技能講習が七月六日・八日の三日間(技能試験は七月二十一日、二十二日実施)で実施され、今年度も当組合とポリテクセンター函館との共催で開催されました。

今年度より、今後必要とされる人材育成ニーズの把握に努めることを目的とし、当組合とポリテクセンターとで電気分野人材育成研究会を設置したほか、助成金の支給を受けながら、人材育成が可能となる人材開発支援助成金制度が平成二十九年度より新設され、その効果的な助成金活用のための人材開発支援助成金活用説明会をポリテクセンターが主催をし、当組合を通して数回開催しております。

これからも電気工事士受験準備講習会を開催するとともに、より効果的な人材育成の機会を提供できるよう努めてまいります。

最後に、準備講習会を実施して頂いたポリテクセンター函館の皆さまに感謝申し上げます。



函館工業高校電気科生徒 インターシップ現場実習受け入れ

今年度も函館工業高校より当組合に対し、電気科生徒のインターシップ現場実習受入要請がありました。当組合としても函館の電気業界の発展・将来の人材育成の為、インターシップ現場実習受入に協力することとし、七月十一日から十三日まで実施しました。ご協力頂きました組合員の皆様厚く御礼申し上げます。

初日はまず組合大会議室にて對馬副理事長より挨拶、続いて安全講話をして頂きました。服装、ヘルメットその他現場実習における注意点を指導頂きました。安全講話終了後、バスが到着し太平洋セメント上磯工場へと移動を開始しました。会議室にて施設紹介DVD鑑賞後、バスにて車窓から工場敷地内見学、敷地内の一部ではありますが、バスを降りて見学をさせて頂きました。太平洋セメント上磯工場の後は昼休憩ののち知内発電所へと向かいました。例年同様にDVD鑑賞の後に施設内見学、最後に函館工業高校卒業生の諸先輩方へ対しての質疑応答でした。今年度は例年に比べて質問数が多く、生徒の熱心な姿が見受けられました。



二日目三日目は各事業所にて現場実習でした。前年同時期に発行した一四二号の記事にて『昨年よりも多くの事業所より受入』と書かせて頂いたのですが、今年度は更に多くの事業所より受入可能とのご回答を頂くことができ、そのうち三分の一は新規の事業所でした。改めまして、ご協力頂きました組合員の皆様へ厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございます。

ご協力頂いた組合員

■岩井電気工業(株) ■梶原電気工業(株)
■(有)北日本産業 ■(株)新営電気設備

支部だより

北部支部研修旅行

北部支部は二十八年の札幌研修旅行以来、二年ぶりとなる研修旅行を九月一日～二日、一泊二日の日程で宮城県・岩手県方面にて組合員十一社十五名参加、組合事務局より伊藤主任に同行いただき、総勢十六名で開催しました。

初日は九時三十分の新幹線はやぶさ十六号で一路仙台へ。皆さん集合時間に遅れることなく、無事出発です。やはり朝からのビールは効きました。仙台に着後、仙台と言えはやはり牛タン!というところで、昼食は牛タン定食に舌鼓を打ち、観光バスへ乗り込み日本三景の一つ松島へ。東日本大震災の以後、幾分風景が変わってしまった島もあるようでしたが、かつて見たのときほど変わらぬ美しい島々を遊覧船から鑑賞することができました。事前の天気予報では晴れの予報だったのですが、『晴れ男』作並副支部長の願いも届かず雨の松島となりました。松島を後にして再び仙台へ。ホテルへチェックインののち、夕食へ。今回の参加者は若手も多くお肉が良いとのこと、仙台でも有名な焼肉店『炭焼金蔵』で焼肉のコースで乾杯です。肉を食べて力のついた若手は、夜の街を楽しんだとか！

二日目は一気に岩手県へ北上し、一関市にある



- (株)誠正電気
- (株)電気企画工業
- (株)富岡電気工事
- 日興電気(株)
- (有)松橋電気
- タマツ電機工業(株)
- 都市電気(株)
- 日道電建(株)道南営業所
- 北海道電気工事(株)函館支店
- (株)菱弘電設 函館営業所

尻鼻溪で溪流川下りを楽しみました。川下りは日本全国で十八箇所あるそうですが、上り・下りとも人力で操船するのは尻鼻溪のみということで、船頭さんのおしやりも面白く、自然のおりなす勇壮な岸壁が見事でした。今回は初秋の爽やかな風を感じましたが、紅葉の時期はさらに美しいのではないかと思います。溪流下りを楽しんだ後は昼食ため盛岡へ。わんこそばの昼食です。若手の参加者が多く、どれくらい食べるのか期待されましたが、参加者十六名中、トップは梶原電気額田さんで一三三杯。平均は五十杯くらいだったでしょうか。その後盛岡駅でお土産を購入、函館へ帰路につきました。

最高齢は七十八歳から五歳のお子さんまで、ご家族連れの方や年齢層もさまざま楽しい研修旅行となりました。参加された皆さま大変お疲れ様でした。次回は二年後の開催を予定しておりますが、その際の多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

西部支部研修旅行

今年の西部支部の旅行は何かと世間に話題を振りまいている大相撲の五月場所の見学に行ってきた。いろいろと旅行を企画するのだが、ここ何回かは人数が集まらず実行するまでには至らなかった。今回は何とか最低人数を確保することができ、やっと実現までこぎつけた感がある。

五月十八日に国技館での五月場所に向かうため函館空港を昼の便で出発し、両国には十五時に到着。私にとつては大相撲観戦も国技館も初めてなので、国技館に集まる外国人のお客さんの多さに驚き、また国技館の中の熱気に圧倒された。会場に着いた時、まず最初に予約してある担当の部屋(というのか相撲にあまり詳しくないのでどう呼ぶかは良くわからないが)へ行き、弁当やお土産の入った袋を頂いてそれから升席に案内された。升席を見て本当に驚いた。約一・五メートル四方の大きさで「ここに大人四人?」という狭さだ。普通の感覚でいうと大人二人でちょうどいい大きさで、この三桁に西部支部旅行参加者十一名を詰め込んだ。荷物も置けない。かなりきついなんてものじゃなかった。まだ行った事のない方はぜひ二名での観戦をお勧めする。土俵上でのそれぞれの取組に

北部支部長 渋谷 重則

会場は毎回大きな歓声と拍手で熱気にあふれているのが相撲に不案内な私でも感じられる。特にこの日たぐさんの懸賞金がかかっていた「遠藤」の取組とその遠藤が負けたときの会場の割れんばかりの拍手は私の記憶にはつきりと残った。

余談ではあるが、次の日の新聞には「遠藤休場」との見出しがあったので余計印象深い。そして結びの一番が終わった直後テレビで見たことのある座布団が飛び交う光景に「おー!!!」と思わず声を出してしまった。どうやらこの時、我々の参加者の中にも飛ばしたという人がいたらしい。ただ遠くまでは飛ばなかったとの事。やはりコツがあるようだ。こうして狭い升席ながらも大相撲を堪能したあとはこの流れで定番の近くのチャンコ屋さんで夕食をとり、先ほどの相撲の話から始まって多種多面の話で盛り上がる。おいしい料理を食べながら、益も進んだ時の参加者の土俵際ぎりぎりの話がいっつも勉強になる。(気がする)。こうしてこの日は両国のホテルにチェックインしメインイベントを終えた。

翌日は、はとバスツアーで靖国神社と国会議事堂の見学コースというバスに乗り、いわゆる定番のコースを回った。私はこのはとバスに乗るのも初めてであったが、各所足早な見学と説明であったため今現在頭に残っているものはあまり無いような気がする。今度またゆっくり回ろうかなとも思う。こうして過ぎた二日間の旅行も終わり、夕方の便で帰国した。

今回は大相撲という大きなひとつのテーマでの研修旅行だったのでもっともよりは企画はし易かったが、やはりより多くの人に参加してもらおうのにはどうしたら良いか次回の旅行に反映しようと思う。

西部支部支部長 高井秀昭



お悔やみ

平成三十年

三月二十九日

(有)高瀬電気商会代表者
ご尊父高瀬金四郎殿ご逝去

七月 二日

(有)ノボル電工代表者
ご母堂佐藤利代殿ご逝去

七月 十日

(株)ワタナベ電器代表者
ご母堂渡邊嘉代子殿ご逝去

七月三十一日

(株)東福電機工業代表者
ご尊父東福洲二殿ご逝去

九月 八日

(株)乙部電気工業代表者
ご母堂深見初枝殿ご逝去

十月 八日

(株)外山電工代表者
外山彰殿ご逝去

■今月の表紙について

『港まつりワッショイはこだて』

過去のいなづまを紐解きますと、当組合の港まつりへの初めての参加は昭和六十三年で、当時は青函トンネル開通、青函博覧会が開催されるなど、函館市の地域振興、活性化が叫ばれている情勢でした。そんな中、当組合のPRを函館市民に示そうと機運が高まったことから、当時の大倉理事長が総代会で港まつりへの参加を表明し、その了解を取り付け、参加が決定したようです。

初参加は電線マンに扮した電線音頭ではありませんでした。電線音頭で参加したのは平成二年からのことで、以来、現在に至るまで、荒天で港まつりが中止となったこともありましたが、電線マン・電線音頭にて連続で参加しております。

今年度は山車を一新し、港まつりへ臨んだ結果、十字街・松風コース、サマーカーニバルの部で平成二十五年度以来、二度目の準優勝を飾ることができ、昨年同様に発刊した一四二号に続き、今回の表紙とさせていただきます。

編集後記

記録的猛暑になった二〇一八年の夏、第一〇〇回全国高等学校野球選手権記念大会が行われました。御存知かとは思いますが北大阪代表の大阪桐蔭が史上初二度目の春夏連覇を果たしました。

勝っても当たり前と言われたプレッシャーの中で、また対戦相手は負けて元々とのびのびとしたプレーで向かってくるのを退け連覇の偉業を成し遂げた選手達の技術はもちろん、精神面の強さは普段の厳しい練習で培われたに違いないと思います。

TVやラジオ、ネットニュースなどのメディアは、圧倒的な強さを見せた大阪桐蔭よりも決勝の対戦相手であった金足農業高校についての報道の方が、大会中はもちろん大会後も大きな話題として取り上げられていました。

全国からスカウトして集めたエリート軍団を地元出身者だけの雑草チームが倒すという万人に受けそうなストーリーに感情移入するのも勿論分かるのですが、エリートがエリートと呼ばれ続ける努力は相当であるものだと思います。

大阪桐蔭野球部員は全寮制で選手達は三年間衣食住をともに過ごすそうです。そしてそこで修行僧のように厳しい日常生活を送り三年間野球漬けの生活をし、ひたすら練習に専念し技術を磨いているのだそうです。しかもそれは強要されているわけではなく、自ら望んでこうした環境に飛び込んでくるそうです。

それは彼らにとつての甲子園とは出場することが目的ではなく、優勝し、そしてその先はプロ野球選手になりたいという明確な目標があるからなのだと思います。きつと来春卒業する選手達の中には今後プロ野球の世界でも活躍する選手が出てくることでしょう。

我々も電気工事を生業としているプロ電気工事業界として学生や子ども達からなりた職業として選択肢に入るような魅力ある職業として業界を盛り上げていかなければならないと思う今日この頃です。

S・N

題字 小寺寛一(第二代理事長)

発行所 函館地方電気工事協同組合

編集 総務委員会

住所 函館市日乃出町7番22号

印刷所 龍文堂印刷株式会社



河村電器産業株式会社

北海道支店函館営業所

北海道支店



003

0006

札幌市白石区東札幌六条一丁目一三〇
札幌三信物流ビル四階



040

0011

函館市本町六十五 富士火災函館ビル三階

TEL (011) 333-7436
FAX (011) 333-7437

TEL (011) 821-5311
FAX (011) 821-0504



人とあかりの調和を考える

大光電機株式会社

函館事務所

札幌支店



064

札幌市中央区南四条西一丁目二二

函館事務所



042

函館市乃木町二一パレシャル九七二階

TEL (013) 841-6450
FAX (013) 841-6785



パナソニック(株)エレクトロニクス社

北海道電材営業所
函館電材出張所



041

0808

函館市桔梗二丁目二四一六

TEL (013) 471-6333
FAX (013) 471-6366

あしたの光で“ごちよう”を創ります。

東芝ライテック株式会社

北海道営業部函館営業所



040

0001

函館市五稜郭町一十四 五稜郭114ビル三階

TEL 五一一六〇〇二
FAX 五一一六〇〇二



TANAKA CO., LTD

情報社会をパフォーマンスする

田中商事株式会社

函館営業所



040

0072

函館市亀田町一三番八号

本社・東京 電話 四〇一〇八〇〇
営業所・札幌、札幌東、釧路

電設資材総合卸



株式会社

新光照明



040

0024

函館市高盛町七番一號



007

0812

札幌市東区東苗穂十二条三丁目十九番八号

TEL (011) 790-1253 (代)
FAX (011) 790-1253



ISHIGAKI ハイテク電気設備機器と情報通信エンジニアリングサービス

本社 060-0006 札幌市中央区北六条西一丁目一番地

函館支店 041-0824 函館市西桔梗町五八九番地三番

八雲営業所 049-3104 函館市西雲町内浦町二三四一五番

未来環境を語る・造る

株式会社 エミヤ

函館営業所



041

0824

函館市西桔梗町五八九一四九

電話 四八一五七五一(代表)
本社 札幌・営業所 釧路、苫小牧、小樽